

## 私たちの心に語りかけられる神様

ローマ8：14～16

私たちは忙しい毎日を送っています。業績を上げ、利益を得るためにフル回転している現役世代だけでなく、リタイアした世代も、忙しくすることが良いことのように生きています。しかし神様は、一日の時間の中で、主なる神様との時間をもう少し裂いて、「静まって、わたしこそ神であることを知れ」(口語訳詩篇46:10) と語っておられるのです。

ある牧師先生は、「本物クリスチャンとは、教義を学ぶ事でも、人道的支援に励むことでもない。生きておられ、ダイナミックであり、意志をお伝えになる神様と共に歩むこと、その神様の声に耳を傾けることを身につけ、信頼し、従う者のことである」と語られました。

イエス・キリストの救いに与った私たちは、心に優しく語りかけて下さる主の御声を聴き、悟り、喜んで従う主の証し人になりたいと思います。

## 聖書の学び

### I、私たちと話したがっておられる神様

1、神様は、私たちと話したいと思っておられます。旧約聖書においても直接声をかけられ、夢や幻などで語られています。

#### ①直接、声をかけられる神様

- ・罪を犯してしまったアダム・エバに声をかけて捜して下さる。(創世記3：8、9)
- ・アブラムに声をかけて、信仰による義を与え、カナンの地に導かれる。(創世記18：17)

#### ②夢や幻を見させ、語られる神様

- ・ヨセフに夢を見させ、解くことを通して、イスラエルのエジプト移住を導かれた。  
(創世記37:7)

#### ③幻を見させ、語られる神様

エゼキエル書、ダニエル書

2、新約聖書でも、神は私たちと話したいと思われて、主の御姿やご聖霊の御声をもって、声をかけられ、夢や幻でも語られました。

- ①パウロに現れ、ご自身がキリスト・イエスである事を示され、パウロが福音を  
宣べ伝えるのを導かれました。(使徒9：5)
- ②使徒ペテロに幻を見させ、異邦人コルネリウスに会わせ、クリスチャンの交わり  
を異邦人にも広げるように導かれた。(使徒11：9)
- ③初代教会の様々な問題に、ご聖霊は導きを与えられた。

## Ⅱ、今も、ご聖霊は私たちに語ってくださる

1、ご聖霊は、私たちがキリストの下に引き寄せてくださる方です。

- ①ご聖霊は、私たちに救いの確信を与えてくださる。(ローマ8：16)

例ば、空港の待合室の様子：飛行機の搭乗券を持つ者は、時間までゆっくり好きな事が出来る。

飛行機のキャンセル待ちの人は心配で不安な心である。→ 違いは確信の有無

- ②ご聖霊は、私たちのうちに住んで下さり、キリストについて教えられます。  
(Iヨハネ2：27)

2、ご聖霊は私たちが成長させて下さいます。

- ①みことばを通して、必要な真理をいつも与えてくださる。(ヤコブ1：21)

- ②人を通して、神様のみこころを知ることができる。

3、ご聖霊の細き御声を聞く備えをする。(I列王19：12)

\*一日の中で、手の業をやめて、静かな一人だけの時間を大切にし、神の声に  
耳を傾けましょう。

## 《 1つの提案として・・・ 》

(米国、ゴードン・マクドナルド師提案)

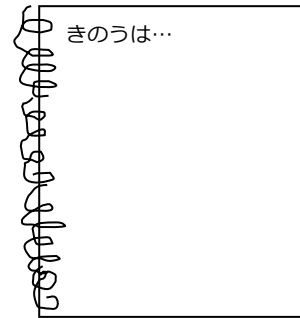
\* 静かな一人だけの時間を持ったとしても、直ぐに、心が静かになり、神の声を聞けるのではありません。私たちの脳の回転数を下げて、自分自身を見つめ神の声を聞く備えをする必要があります。

そのために、1つの提案として、「霊的日誌」をつけることをお勧めします。

(朝が良いかも・・・)

①ノートを1冊、用意する。(できれば、らせんのリングの付いたノートが最適)

②その日の1ページ目の最初に「きのうは … 」と記します。この言葉に続いて、試合後の分析をするように、きのうあった出来事を 1, 2 行書く(1 ページまで)



意識を自分の生活に集中し・・・5分か10分程書く――→ 生活の脳の回転数を下げる

何を書いても構わない。例えば、きのう出会った人のこと、約束したこと、決心したこと、感じたこと、最高だったこと、最低だったこと、イライラしたこと、聖書で教えられたこと、これからしようとしていること、しないつもりのこと、・・・など

③裏のページをめくり、祈りの言葉を書く。(1 ページまで)

書き出した祈りを、声を出して、コメントや心配事を加えながら読む。

④祈りを書き表したら、ノートを閉じ、戸棚にしまって、神の前に <sup>ひざまず</sup> 跪 きます。

\* 力は独りになり、神様と交わり、語らう事から与えられます。

